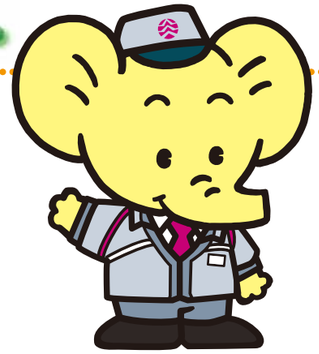
安全エレちゃんのQ&A



Q 4月から新生活を始めるので、何か電気についてアドバイスはありますか?

A 4月は入学や就職など、新生活が始まる場合が多いことから、今回は簡単な省エネ・省マネーについてご紹介したいと思います。

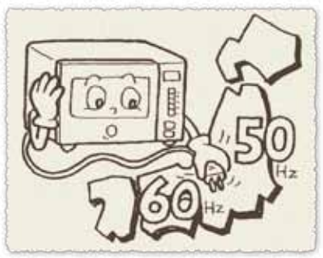
入居先での電気使用申し込みについて

インターネットなどで事前に申し込みを行うことができます。その際に、使用する場所や契約メニュー、使用開始希望日などを電力会社へ連絡してください。なお、入居後に事後申し込みを行うこともできます。(詳細につきましては、契約予定の電力会社のホームページ等でご確認ください)

- 日中は大学や会社など、ずっと外に出てしまっていてほとんど家にいない人
- 昼間の電力ピーク時には家にいることが少ない人

など生活スタイルは人によってまちまちです。電力会社は複数の電力契約メニューがある場合が多いので、生活スタイルに合わせて契約を行い、節電を心がけることで省マネーにも繋がります。

機器の周波数の確認を



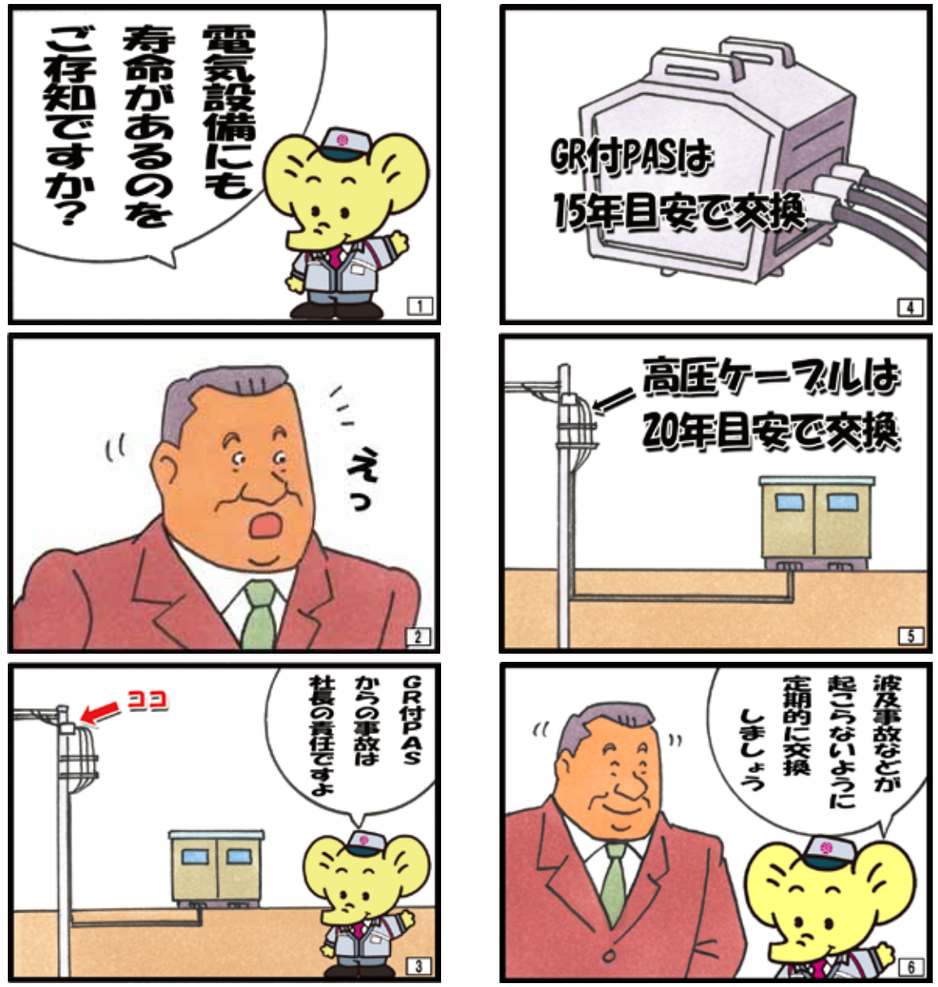
交流の商用電源周波数が原則東日本で50ヘルツ、西日本は60ヘルツとなっています。現在販売されているほとんどの家電製品は両方の周波数に対応できるものとなっていますが、一部の電子レンジや洗濯機などでは使用できる周波数が固定されている場合があります。機器に定められた周波数以外の周波数で使用すると、故障の原因となりますので、家電製品購入の際には両方の周波数で使用できるものか、引越し先の周波数で使用できるものを選んで購入しましょう。また、購入しない場合でも銘版や取扱説明書などで、引越し先で使用できる周波数であるかを確認してください。

家電製品は省エネタイプの物を選びましょう

新生活に合わせて、家電を買い揃えるという方も多いかと思われます。その際に省エネ効果がより高い家電製品を購入・使用することによって、省エネ効果はもちろん、電力料金の低減ができ、省マネーにも繋げることができます。

例えば、省エネルギー性能を表示している統一省エネラベルの家電製品を利用したり、機器のエネルギー効率が良いものなどを見比べるなどの方法があります。

設備更新



設備更新

色々な機械と同じように電気設備も老朽化します。設備の更新を怠ると機器の経年劣化から性能が低下し故障など、思わぬ電気事故に繋がります。GR付PASでは、年次点検後にPASが投入不能になったり、構内で短絡事故が発生したときに正常に動作せず、波及事故となります。

また高圧ケーブルが老朽化することで、水トリー現象が発生して絶縁が低下することにより地絡や短絡を起こし、停電の原因となります。

そのほか、更新目安の年限以内でも使用状況や設置環境により腐食等が発生する場合もありますので、月次・年次点検により判明した不具合は速やかに改修し、事故を未然に防止しましょう。

※　　※　　※

「電気と保安」2012年11・12月号に高圧電気設備の計画的な更新について特集しておりますので、そちらもご覧ください。